

科目名	オブジェクト指向言語 I	英文表記	Object Oriented Programming Language I	平成23年9月		
科目コード	4314					
教員名	石渡 俊介、知名 知恒			作成		
技術職員名						
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
メディア情報工学科	4年	選	学修	2単位	講義	後期
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合		
	①Java言語の文法を理解、習得する。			①中間期および期末試験においてその習熟度を確保する。(30%)		
	②Java言語のクラスライブラリーの商方法を理解、習得する。			②中間期および期末試験においてその習熟度を確保する。(30%)		
	③オブジェクト指向の基礎概念を理解、習得する。			③中間期および期末試験においてその習熟度を確保する。(10%)		
	④ PBL (チームでのプログラム開発)			④チーム開発での貢献度および参加姿勢 (30%)		
⑤			⑤ (%)			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	メディア情報工学
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-2、B-2、C-1
授業概要、方針、履修上の注意	本授業では、オブジェクト指向言語であるJava言語を学びます。基本的な文法だけではなく、継承・カプセル化・ポリモーフィズム等のオブジェクト指向を学びます。演習では講義内容に応じたプログラミング課題に取り組みます。					
教科書・教材	提供教材					
授 業 計 画						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目
1	ガイダンスと開発環境整備	2	授業内容の説明とJava開発環境の整備を行う			
2	Java言語文法(1)	2	変数、データ型、演算子について学ぶ			
3	Java言語文法(2)	2	条件分岐、繰り返し制御、配列について学ぶ			
4	Java言語文法(3)	2	メソッドのシグネチャ、オーバーロードについて			
5	クラスとインスタンス	2	クラスとインスタンス、コンストラクタについて学			
6	例外処理とパッケージ	2	try-catch、throw、パッケージについて学ぶ			
7	クラスパス	2	クラスパスについて学ぶ			
8	中間試験	2				
9	継承	2	オーバーライドおよびコンストラクターについて			
10	ポリモーフィズム(1)	2	インターフェースの定義、利用法について学ぶ			
11	ポリモーフィズム(2)	2	抽象クラスの定義、利用法について学ぶ			
12	Collectionフレームワーク	2	List、Set、Mapの利用法について学ぶ			
13	PBL(1)	2	オブジェクト指向を意識した対話型のプログラミングをチームで作成する			
14	PBL(2)	2				
15	PBL(3)	2				
期末	期末試験	[2]				
学習時間合計		30	実時間		25	
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など) 12 回目の講義後にレポート(PBL)を課す。						

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)